

# Top Interview

## 水森亜土【Ado Mizumori】

NHKのテレビ番組『たのしい教室』で透明のアクリルボードに両手で可愛いイラストを描く“歌のおねえさん”としてデビューした亜土さん。その愛くるしいキャラクターとキュートなイラストは世代を超えて愛され続け、イラストレーターとしてだけでなく、ジャズ歌手・舞台女優など様々な分野で目まぐるしく活躍中だ。

「とにかく絵と歌と踊りが大好き！」という亜土さん。この日はジャズ歌手としてライブの休憩時間にインタビューに応じてくれ、ライブ前にはお客さん一人一人にラムネやキャンディを配ってくれる姿も印象的だった。Little Red Roosterの羽根をあしらった華やかな髪飾りを付けて最高のライブを聴かせてくれたが、意外にも本当はヌードダンサーになりたかったこと。そして、音楽のルーツはディープなブラック・ミュージック＝ブルースだと知った！！

亜土さんも公には初めて語ったと言うように、後半はブルースマン談議に花が咲く貴重なインタビューとなりました。

(2009.11.17『上野アリエス』にて) 取材&文：加瀬正之



写真提供：劇団未来劇場

### ♪まずはジャズとの出会いについて聞かせて下さい

おじいちゃんが浪曲が好きで、お父ちゃんとお母ちゃんがビング・クロスビーとかジャズのLP（レコード）を持っていて、小学校に入る前によくそのLPで円盤投げて遊んでいたんですよ（笑）。それでお父ちゃんとお母ちゃんが近所の人を呼んでソシアルダンスとかジルバを踊ったりして、私はお父ちゃんの足の甲の上に乗っかって一緒に踊ってたの。でも、私はビング・クロスビーとかよりも黒人のミュージシャンが好きで、デューク・エリントンとかが好きだったんですよ。ビング・クロスビーとサッチモ（＝ルイ・アームストロング）が共演した映画『上流社会』ってあったでしょ？ あの映画でビング・クロスビーがサッチモのことをちょっと馬鹿にした感じで、ムカついたのね。

### ♪小さい頃から音楽に囲まれていたのですか

うちの近くは大橋節夫とハニー・アイランダースのヴァイヴ奏者の内田やっちゃん（＝内田保正）が住んで、うちは日本橋室町一丁目の一で、向こうは室町一丁目の三で、バンドの練習してるのとよく遊びに行っていたの。特にドラムが好きだね。バスドラの真ん前に来ると何か心臓がバクンバクンするの。なんだかとても好きで、難聴になるくらいバスドラのそばにへばりついて聴いていたの（笑）。

### ♪最初はミュージシャンになりたかったのですか？

なりたかったけど、ウクレレしか弾けなかったから（笑）。

### ♪ウクレレはいつ頃から弾いていたのですか？

ハワイのモロカイ・ハイスクールに通っていた時で、体育の時間はフラ（＝フラダンス）で、音楽の時間にウクレレを習っていたの。

### ♪高等学校を卒業後にハワイに行かれたのですよね？

いろんな学校を受けて落ちたの。それでハワイに行っ

ただけど、今までの人生で受かったことって2つだけあって、ひとつが『未来劇場』っていう劇団で、もうひとつはそこから派遣されてオーディションを受けて受かったNHK教育テレビの『楽しい教室』だったの。

### ♪歌も大好きだったみたいですね？

中学3年の時にニッポン放送でロイ・ジェームスさんっていう人が審査員でいらした『キス・ミー・ジャズのだ自慢』っていう番組があったんですけど、それに出たくてね。でも、オーディションに行くと「カーン」って鐘一つなの…「坊や、またおいで！」って。

♪でも、その後には日劇に出られたそうですが、その時はジャズを歌ったのですか？

そうよ。本当は私、ヌードダンサーになりたかったの！ 憧れたの…。だけど、部品が足りなかったんですよ…いろいろとか。アンゴとか、バストとかね（笑）。だから歌だけになっちゃった（笑）。でも、今でも踊りは大好き！ 日劇に出た時は『楽しい教室』のオーディションに受かる前だったんだけど、オーケストラをバックにコニー・フランシスの「リップスティック・オン・ユア・カラー」とかを歌ったのを覚えているわ。でも、1日3回公演なんかやると、みんな2回目、3回目になるとダレてるのね。だから、あの時はちょっと辛かったですね…。その後も丸尾長顕さんっていう演出の人に可愛がってもらって、いろんなオーディションを受けただけど全部落ちちゃって…。

### ♪当時レコードは出されなかったのですか？

うん、全然。チャンスがなかったの。こんなにいっぱい歌の上手い人たちがいるのに、私なんて出る幕ないな…って思ってたんで断念したんだけど、歌は本当に好きなんですよ。絵と歌が好きっていうのが困っちゃうの。夜中に油絵なんて描いているといつの間にか歌っているのね。

あと、雪山に犬と一緒に行くとき自然に歌を歌ってんの。それで、去年の春に熊に出会ったのね。タラの芽を取りに犬と一緒に山に行ったんだけど、タラの芽って崖っぷちの急斜面から突き出るように生えているから、えもん掛けの針金の部分でひっかけて取るんですけど、タラの芽を取っては背中のリュックに入れていて、バツと顔を上げたら山の中腹で大きな熊がこっちを見てるの。それで、息が止まって「逃げなきゃ!」「何か歌わなくちゃ!」って思ったの。でも、ジャズ歌手なのにとっさに出てきたのが「ぼっぽぼ、ハトっぽぼ…」で、それを歌いながら山を降りたの(笑)。結局、熊は追いかけて来なかったんだけど、ああいう時にジャズが歌えないとダメよね(笑)。

◀ 亜土さんはいつも愛犬と一緒に車でいろいろな所に出かけるらしく、愛犬の名前はムック(「ムックの叫び」みたいだから)だそうだ。▶

### ♪『楽しい教室』でデビューした経緯を教えてください。

『楽しい教室』のオーディションの時に、実は初見で歌を歌ったの。でも、私そんなことできないから、到底受からないと思っていたの。でも、それから「あなたの特技は何ですか?」って言われて嘘ついちゃったの…両手で絵が描けるって…。それで「ちょっとやってみなさい!」って言われて…。だから両手でチョークを持ってぶるぶる震えながら、黒板に数字で1、2、3…って描いたの。私、絵を描いたり、包丁を持ったり、テニスとかキャッチボールとか力仕事は全部ギッチョで、小学校の時にお母ちゃんに変えさせられたお箸と鉛筆とかは右なんだけど、両手で絵を描く時って利き手じゃない方を見れば分かるんだけど、絵は左手が利き手で、字は右が利き手だから、絵を描く時は右を見るわけ。でも「そんなことじゃいけない!」って思ってた、それからすごく練習したの。一生懸命、ものすごく努力したのよ(笑)。だから頭痛くなっちゃったんだけどね(笑)。あの番組は1分50秒の間に1曲歌って、その間にイラストを描くというコーナーだったんだけど、昔はアクリルボードじゃなくてガラスだったの。だから、お掃除が大変で、ドライーカメラハー本番と何回も描いていると油性と水性の道具で描いていたから消すのが大変だったのね。だから、ドライーカメラハはイラストを描く恰好だけで、本番ぶつつけて描いていたの。

### ♪ 亜土さんは元々は左利きだったそうですね?

そう。お父ちゃん、おじいちゃんもみんなギッチョで、家には何故かギッチョ用の包丁やきゅうすも作ってあったんだけど、お母ちゃんに矯正されたの。でも、そのストレスで1年生から6年生まで吃音症や赤面症になっちゃったの…。

### ♪ イラストは何歳くらいから描いているのですか?

幼稚園に入る前に、その頃私キリンに凝っていたらしくって、日本橋の橋のらんかんの端からロウセキでず〜っとキリンの首を描いて橋の向こうまで行ったんだって(笑)。お母ちゃんの話ではその前はお姫様と猫とひまわりしか描けなかったらしくて、その時初めてキリンを描いたんだって。でも、何でキリンだったかというと、当時お母ちゃんが上野動物園によく連れて行ってたので、年子の妹と一緒に



写真提供：劇団未来劇場

ゾウかなんか描くとすぐ比べられてさ。お母ちゃんに「お前は どうしてゾウの鼻をそんなに短く描くの?」とか何度も言われて、それからはもうね、ゾウを見ながらキリン描いたり、キリン見ながら猫描いたりしてたの。そうすると比べられないでしょ?(笑)。

### ♪ 亜土さんはアニメのテーマ・ソングなどもたくさん歌っていますが、特に思い出深い曲はありますか?

アニメのテーマ・ソングとかは100曲以上歌っているんだけど、ジャズにとっぷりと浸かっていた頃はアレンジがジャズっぽいのと、ブルースっぽいのと、「すきすきソング」(1969年『ひみつのアッ子ちゃん』より)も小林亜星さんが作ってくれたブルースなんだけど、ああいうブルースが大好きなの! あとね、「南の島のハメハメハ大王」(1976年『みんなのうた』より)は、ハワイの学校で習った現地語で“Happy New Year”とかアドリブを入れたんだけど、誰にも気付かれなかったみたいね(笑)。それと「ワイワイワールド」(1981年『Dr. スランプ アラレちゃん』より)ね。「来たぞ、来たぞ、アラレちゃん」って、すごく好きでね(笑)。でも、あの曲はレコーディングで唇を何回も噛んじゃって、実は暗い思い出の曲なんです(笑)。よく小さな子供向けにデパートでお絵描きのイベントをやったりするんですけど、最後のバイバイの時にあの曲を歌うの。それで、みんなで「バイちゃ!」するの(笑)。

### ♪ 普段聴いている音楽は何ですか?

私はね、エッタ・ジェームスっていう人が好きなの。それで、毎年ニューオーリンズのジャズ・フェスティバルに行くの! 毎年トリがネヴィル・ブラザーズとか、あとサンタナも出たしね。それで、エッタ・ジェームスっていうすごいシンガーがいるんだけど、彼女がかなう人はいないと思う! でも、今年は20キロくらい痩せて、パンチがほしい、整形手術して顔はひきつってたし、それから椅子に座って

歌ってたし、バラードばかりでシャウトがひとつもなかったの。だからつまらなくて頭に來ちゃった(笑)。でも、今一番好きなのがロッキン・ドゥブシー・ジュニア(Rockin' Dopsie Jr. & The Zydeco Twisters)っていうブルスマン！彼は最高よ！今年もそのロッキン・ドゥブシー・ジュニアを追っかけてニューオリンズに行ったんだけど、良かったわ〜！今は何ってたってロッキン・ドゥブシー・ジュニアよ！いろいろな人の曲をカバーしているけど、あの迫力とすごさは群を抜いているな！数年前にハリケーン・カトリナが來た時は行かなかったんだけど、それ以外は毎年ニューオリンズに行っているわ。あのジャズ・フェスティバルをすごく楽しみにしているの！屋は「フェア・グラウンド」って言って競馬場でのコンサートなんだけど、夜になると「ハウス・オブ・ブルース」って言って、無名けどすごくヌメヌメした感じのブルース・シンガーがいっぱい出ていいのよ〜！朝まで演奏していて最高の！

### ♪ニューオリンズ以外にもよく行かれるのですか？

私、本当はレゲエも好きなので、ジャマイカのキングストンで開かれるレゲエ大会にいつもひとりで行くの！モンテゴベイっていう静かな所にホテルを取って置いて、そこからレンタカーでキングストンまで4時間くらいかけて行くのよ。「Angel」って書いてアンジェラっていう山を下って行くんだけど、ホールドアップがいっぱいあんのよね。それで、向こうに友達がいって「ジャマイカは危ないよ！」っていうから、現地の中学生の子供を2人、1人20ドルで雇って用心棒として従えて行くの(笑)。でも、私のルーツはブルースなのよ、絶対に！

### ♪黒人のブルースが大好きなんて意外でした！

あとは、BBキングやアルバート・キングの方が有名だったんだけど、アール・キングっていう人も好き！だから、ブルスマンが日本に來ると見に行くの。日比谷野音とか、昔渋谷にあったアピアとかにもよく行ったわ。アピアでアール・キングを見たのよ！フレディ・キングなんかはよくお手本にされるんだけど、実はアール・キングって最高のの！実際に話してみるとちょっと変な所もあるけどね…(笑)。アール・キングからはよく手紙を貰って、ニューオリンズでも会ったりしたの。あの人ね、街角で四角いドーナツを売っていたのよ。ブルースシンガーって売れないでしょ？食べていけないでしょう？だから、みんなそうだったわよ。パイントップなんかいうトランペットと歌をやっていたブルスマンもタイ焼きみたいなものを売っていたわ。ワゴンを持って、ワゴンにトランペットとタイ焼きみたいな絵を描いて、それを売りがらトランペット吹いていたわ。他にも、ボ・ディリーなんかも四角いギターで、けっしてすごく上手いわけではないけど素敵よね！Tボーン・ウォーカーも大好きよ！それと、私はマディ・ウォーターズよりもジョン・リー・フッカーの方が好きなの！ジョン・リー・フッカーってドロドロでしょ！すごい間が！ジョン・リー・フッカーみたいドロドロと地獄の中から湧き出でて歌うようなああいう歌うのが憧れなの！ブルース以外は「ああ、もししたらこれが最後かなっ？」っていう人は見に行ったりするけど…。エラちゃん(=エラ・フィッツジェ



十八番ナンバー「ルート66」から、あの『ひみつのアッコちゃん』のテーマ・ソングでお馴染みの「すきすきソング」へのメドレーも披露してくれた亜土さん(「上野アリエス」でのライブより)

ラルド)も見に行っただけど、私は本当にブルースとかケイジャン・ミュージックが一番好き！

### ♪最後に亜土さんの夢を教えてください！

あまり有名じゃなくても、いいブルース・ミュージシャンを日本に呼んで「こんなにすごい人がいるんだぞ！」って紹介したいなって思う！私は共演なんてとんでもないから、ただうっとりとするだけだだけどね(笑)。

亜土さんのブルース愛を感じて感動し、インタビュー後はイラストも描いてくれて感激した。この日は昨年リリースした『Cow Cow Boogie』にも参加した高浜和英(p)酒井一郎(b)八城邦義(ds)と共に、1stステージでは「サムディ・ユー・ウィル・ビー・ソーリー」、「バードランドの子守唄」の他、亜土さんの十八番ナンバー「ルート66」から『ひみつのアッコちゃん』のテーマ・ソングでお馴染みの「すきすきソング」へのメドレーも披露してくれ、インタビュー後の2ndステージでは『キス・ミー・ジャズのど自慢』で歌って鐘1こだったという「スロー・ポート・トゥ・チャイナ」に、「CCライダー」～「エブリバディ・アイ・ハヴ・ザ・ブルース」と「Blueswoman」水森亜土の一面も見せてくれた！

【<http://www.miraigekijo.com>】

亜土さんが所属する『劇団未来劇場』と『亜土工房』のホームページ。公演情報、劇団員紹介、亜土ちゃん情報、亜土ちゃんグッズの紹介など情報満載！

【水森亜土ライブ情報】

2009/12/22(火) @ 銀座スウィング

水森亜土(vo)

ローズルームダンサーズ

外山喜雄(p) デキシージー

外山恵子(bj, p)、鈴木孝二(cl)、粉川忠範(tb)、

藤崎羊一(b)、サバオ渡辺(ds)

▼お問い合わせ

銀座スウィング(Tel: 03-3563-3757)

詳細はこちら⇒【<http://www.xx.em-net.ne.jp/~swing/>】



【CD】亜土ちゃんの最新作&ジャズ・スタンダード・カヴァー集!

『Cow Cow Boogie』  
audio park records : APCD-4014  
¥3,150 (tax in) [2008年発売]



【CD】「オー・テンデニ」の名コンビ・里吉しげみ & 小林亜星の名曲集!

『劇団未来劇場 創立50周年 劇中歌集』  
劇団未来劇場 : MG-5001  
¥2,500 (tax in) [2008年発売]



【CD】亜土ちゃんが歌った「ミちゃん」と「バンドコハンダ」などを収録!

『バンドコハンダ・オリジナルサウンドトラック完全版』  
東京ムービーレコード : TMS-301  
¥2,940 (tax in) [2008年発売]



【CD】小西康陽をプロデュースに起用した亜土ちゃんの傑作!

『すきすきソングス』  
avex : AVCW-12363  
¥2,800 (tax in) [2004年発売]



【CD】亜土ちゃんが新旧の録音でスィングするご機嫌な一枚!

『MINNIE THE MUCHA』  
MIDI Creative : CXCA-1128  
¥2,800 (tax in) [2003年発売]



【書籍】亜土ちゃんのとてもキュートな描き下ろしによる絵本!

『ひとりぼっちのバラ』  
教育画劇 : 4-7746-0686-3  
¥1,050 (tax in) [2005年発行]



【書籍】亜土ちゃんの膨大なイラスト作品から97点を厳選!

『Ado Museum』  
小学館 : 4-09-681571-3  
¥1,365 (tax in) [2003年発行]



【書籍】亜土ちゃんの乙女チックなイラスト & 書き下ろしボム集!

『甘い恋のジャム』  
ブルース・インターアクションズ : 4-86020-023-3  
¥1,575 (tax in) [2002年発行]

亜土さんから『The Walker's』読者に素敵なプレゼント! (\*ピンクの部分は亜土さんが自分の口紅で色付けてくれました!)



① 渋いブルースを奏でるベースマン!



② ノリノリの女性ブルース・シンガー!



亜土さんは「上野アリエス」のオーナーさんとは知り合いで、店内の壁いっぱい描かれたイラストはお店のオープンに際し、亜土さんがプレゼントしたものだそう。

『The Walker's』読者(2名)の方に抽選で世界に1枚ずつしか存在しない水森亜土さんの貴重な直筆イラストをプレゼント!

「送付先住所(郵便番号もお忘れなく)」「氏名」「電話番号」「ご希望のイラストの番号(①、もしくは②)」を記載の上、下記アンケート(①~⑦)に答えて、件名に「水森亜土サイン入りイラスト プレゼント係」と明記の上、下記Eメール・アドレス宛てにお送り下さい。  
【[thewalker@k07.itscom.net](mailto:thewalker@k07.itscom.net)】

【アンケート】

- ①性別 ②年齢 ③職業 ④本誌をGETした場所
  - ⑤水森亜土インタビュー記事の感想 ⑥本誌の感想
  - ⑦今後取り上げて欲しいアーティスト
- 【当選は発送にて代えさせていただきます。】